

事務事業チェックシート

事務事業No

事業名

[事業基本情報]

9651

青少年国際交流センター整備事業

[長期総合計画]

分野別目標	3	子供たちがいきいきと育つまち
政策	3	生涯を通じた豊かな心と健やかな体の育成
施策	1	豊かな心を育む教育の推進
取組方針	2	郷土を愛するふるさと教育の推進

事業区分(1)	事業経費	○	管理経費	
	その他			
事業区分(2)	自治事務	○	法定受託事務	
	その他			
会計・ 予算区分	会計	一般会計		
	款	教育費		
	項	教育総務費		
	目	青少年国際交流センター費		
	大事業	青少年国際交流センター事業		
	中事業	青少年国際交流センター整備事業		

事業種別	継続	関連個別計画	教育振興基本計画
事業年度	平成29年度 ~ 平成30年度	担当課・担当課長・Tel	青少年国際交流施設準備 所長 宮崎 繁輝 (459-2107)
事業実施の根拠法令	青少年国際交流センター条例	関連課	公共建築課

1 事業内容

事業目的	(「誰・何」をどういう状態にするための事業か)		全体事業概要		
	加太の立地条件を生かし、体験型学習施設となり青少年国際交流センターとしてリニューアルオープンする。		老朽化した少年自然の家をリニューアルし、利用対象者を従来の小・中学生から、利用者の枠を拡大し施設の有効活用を図るとともに、自然体験活動、生涯学習活動及び国際交流活動に取り組む場所を提供する。		
事業内容	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和02年度
		建築工事、機械設備工事、電気設備工事については29年度に着手し、敷地内道路拡幅工事については29年度で完了。	青少年国際交流センターの整備（平成30年度センターをオープン）		

2 事業コスト

事業費等(千円)	平成28年度		平成29年度		平成30年度		平成31年度		令和02年度		
	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	計画	決算	
事業費	0	0	382,132	382,132	1,263,557	1,238,065	0	0	0	0	
伸び率(%)	0%	0%	0%	0%	230.7%	224%	△100%	△100%	0%	0%	
人件費	正規職員	0	0	0	4,786	13,347	10,470	0	0	0	0
	正規職員以外	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	小計	0	0	0	4,786	13,347	10,470	0	0	0	0
国庫支出金	0	0	191,066	191,066	0	0	0	0	0	0	
県支出金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
市債	0	0	191,000	191,000	1,113,900	1,215,700	0	0	0	0	
その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
一般財源(税等)	0	0	66	66	149,657	22,365	0	0	0	0	
所要人数(人)	正規職員	0.00	0.00	0.00	0.60	1.67	1.31	0.00	0.00	0.00	0.00
	正規職員以外	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
主な予算内訳	30年度 整備工事請負費1,224,858千円、消耗品費2,094千円、諸資材費287千円、庁用器具費36,126千円、管外出張旅費192千円										

3 目標及び実績

活動指標	指標名	単位	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和02年度
			目標値	実績値	達成度(%)	目標値	実績値
建築工事の進捗	%	目標値		22	78		
		実績値		22	78		
		達成度(%)	0%	100%	100%	0%	%
建築工事の進捗	%	目標値		22	78		
		実績値		22	78		
		達成度(%)	0%	100%	100%	0%	%

4 事業の評価

評価基準				
[妥当性]事業のニーズはあるか	○	増加している	横ばい	減少している
[妥当性]事業手段は妥当か	○	現行の手段でよい	一部見直しが必要	見直しが必要
[妥当性]官民の役割は妥当か	○	市が行うべき	他の主体との協働も可能	市が行う必要性は薄れている
[妥当性]緊急的に取り組む必要はあるか	○	急いで取り組む	中長期的に取り組む	緊急性は薄い
[有効性]更に効果が期待できるか	○	できる	あまりできない	できない
[有効性]成果目標ほどの程度達成しているか	○	達成している (90%以上)	おおむね達成 (70~90%未満)	達成していない (70%未満)
[有効性]上位施策への貢献度	○	重要かつ高い貢献度がある	一定の貢献度がある	貢献度は低い
[効率性]事業費を抑制できるか	○	できない	制約はあるが可能性はある	できる
[効率性]受益者負担の見直し	○	適正	負担は求められない	見直しが必要

5 今後の方向性 (担当課評価)

事業内容の方向性	充実				
	現状維持				
	縮小				
	廃止	○			
		ゼロ	縮小	現状維持	拡大
コスト投入の方向性					

担当課評価の根拠	青少年国際交流センターの改築改修工事に係る事業のため、30年度中に事業終了となることから、現状の計画通り行うものと考えている。
見直し・改善内容	平成30年度で整備を終了